

とうほく自動車産業集積連携会議 令和元年度事業報告

「とうほく自動車関連産業振興ビジョン～とうほく自動車関連産業のさらなる高みへ～」の戦略に基づき、東北の自動車産業集積に向け、以下の事業を実施しました。

1 【戦略Ⅰ】幅広い分野の企業集積

■関連企業の進出促進

(1) 知事が連携したトップセールス

トヨタグループ向け展示商談会の開催に併せて、令和2年1月に北海道を加えた8道県の知事等がトヨタ自動車(株)本社を訪問し、河合副社長、トヨタ自動車東日本(株)の白根会長など同社の幹部と懇談しました。

自動車関連産業の一大拠点化に向けた「とうほく」の連携した取組についてアピールしました。



令和2年1月30日  
トヨタ自動車(株) トヨタ会館 貴賓室

(2) 東北連携の取組等の発信

東北7県の自動車関連産業集積に向けた取組を中京地区等にPRするため、従来の中部経済新聞への特集記事の掲載を見直し、よりターゲット層が絞られる愛知県内の主要商工会議所(名古屋、豊田、刈谷等)の会報誌における折込広告等の活用により、「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」(後述)に関する情報発信等を行いました。

また、同商談会の会期中、会場入口付近に東北7県・北海道の共同展示スペースを設置し、東北連携の取組等に関する情報発信を行いました。



名古屋商工会議所会報誌「名古屋」(令和2年1月号)



東北7県・北海道共同展示スペース

## ■地場企業の参入促進

### (1) とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会

本商談会は、自動車業界が「100年に一度の大変革の時代」に直面する中、モビリティカンパニーへの大胆なモデルチェンジを図ろうとしているトヨタ自動車㈱に対し、東北7県・北海道における地場企業の技術力と将来性を広くアピールすることで、トヨタグループのニーズと出展企業のシーズのマッチングによる将来技術の開発や取引拡大等を目指し、開催したものです。

商談会では、「とうほく・北海道『新時代への挑戦』」をキャッチフレーズに、次世代モビリティに必要とされる将来技術（CASE、MaaS等）を視野に入れた新技術の展示のほか、先端技術シーズをテーマとしたプレゼンテーション企画など新たな特別企画を実施し、好評を得ました。

また、通算3回目を迎えた「とうほく・北海道ショーケースカーコーナー」（後述）では、車両本体を実車ベースに“フルモデルチェンジ”し、搭載部品の充実化を図りました。

◇期 日：令和2年1月30日（木）、31日（金）

◇場 所：トヨタ自動車㈱ 本館ホール（愛知県豊田市）

◇出展企業等：106者、106提案

◇来場者：1,977名

◇特別企画

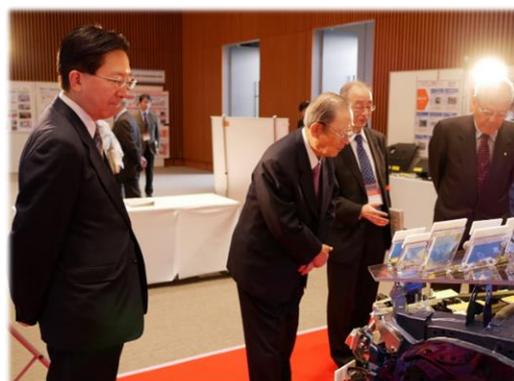
- ①次世代モビリティゾーン
- ②大学・公設試テクニカルシーズコーナー
- ③域内大学による技術シーズプレゼンテーション企画
- ④とうほく・北海道ショーケースカー

#### 【商談結果 ※令和2年7月（5ヶ月後調査）時点】

道県名	出展者数（提案数）	商談成立	試作依頼	見積・図面依頼	後日訪問
青森県	5（5）	0	0	0	8
岩手県	18（18）	0	1	1	9
宮城県	15（15）	2	5	6	13
秋田県	13（13）	1	3	2	18
山形県	15（15）	0	9	9	23
福島県	14（14）	3	4	7	10
新潟県	15（15）	3	3	6	29
北海道	11（11）	1	2	9	17
計	106（106）	10	27	40	127

#### 【来場者の主なコメント】

- トヨタ自動車㈱ 相談役 張 富士夫 様  
ショーケースカーや次世代モビリティブース等、東北・北海道生まれの技術や製品が、分かりやすく、魅力的に展示されている商談会だった。東北・北海道の自動車産業のさらなる発展に期待している。
- トヨタ自動車東日本株式会社 取締役会長 白根 武史 様  
AIやIoTなど、時代の流れに即したテーマが多く、興味深い展示会だった。業種を超えた連携が進むと、より一体感が高まり、新たなものが生まれるのではないかと思う。



## (2) とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会 in SUBARU

本商談会は、(株)SUBARU及び同社グループ企業との新たな取引開始や関係構築のため、同社及び同社グループ企業のニーズに応じ、東北7県・北海道における地場企業の優れた技術や工法・製品等のPRを行いました。

同社及び同社グループ企業では、会期直前に、台風19号の影響により群馬県内の生産拠点の操業停止を余儀なくされ、開催への影響が一時懸念されましたが、同社の厚意により多数の技術者が集い、活気に溢れた商談会となりました。

◇期 日：令和元年10月24日（木）

◇場 所：(株)SUBARU群馬製作所（群馬県太田市）

◇出展企業：26社、26提案

◇来場者：305名

### 【商談結果 ※令和2年5月（6ヶ月後調査）時点】

道県名	出展者数 (提案数)	商談成立	試作依頼	見積・図面依頼	後日訪問
青森県	2 (2)	0	0	0	0
岩手県	3 (3)	0	0	0	0
宮城県	6 (6)	0	4	1	1
秋田県	1 (1)	0	0	0	0
山形県	4 (4)	0	0	1	2
福島県	5 (5)	0	0	0	1
新潟県	2 (2)	0	0	2	0
北海道	3 (3)	0	0	4	1
計	26 (26)	0	4	8	5



## (3) 企業間交流・連携の促進

### 「総会・講演会等」

◇期 日：令和元年7月16日（火）

◇場 所：ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）

◇参加者：総会 159名 講演会 174名

◇講演会：演題「自動車業界の今後に向けたトヨタの経営品質」

講師 トヨタ自動車(株) 元取締役副社長 佐々木眞一氏



## 2 【戦略Ⅱ】競争力のある生産拠点

### ■設計開発機能、生産技術力・準備力等の強化の取組

設計開発機能や生産技術力・準備力等の強化のため、セミナーや講演会等を実施しました。

#### ○ 青森県

##### 「ものづくり企業生産性向上セミナー」

◇期 日：令和元年10月16日（水）

◇場 所：青森市内

◇参加者：55名

ものづくり企業の経営者層等を対象とし、5S・QCD活動など製造現場のカイゼンの必要性をテーマとした講演を行うとともに、現場力強化アドバイザーの周知等を行いました。



#### ○ 岩手県

##### 「無線認証・車載EMCセミナー」

◇期 日：令和2年2月7日（金）

◇場 所：盛岡市内

◇参加者：12名

ビューローベリタスジャパン(株)EAW事業部の荒井 央 氏と(株)アイピーエス東海 EMC センターの貝山 光雄 氏を講師に迎え、自動車の電動化やコネクテッド化の動向を見据えて、無線認証や車載機器EMC試験における注意点を解説するセミナーを開催しました。

PRESS RELEASE 無線で電波を  
も受信します 2020.1.14 (R1-022)  
地方独立行政法人岩手県工業技術センター

**無線認証・車載EMCセミナーを開催します！**

近年、IoT機器の急速な拡大などにより、無線機器の製造・利用にあたり義務付けられた認証取得についての関心が非常に高まっています。また、自動車のEVシフトやコネクテッド化等の流れのなか、車載電磁波についても業界団体や自動車メーカーそれぞれの規格、認証、実車検証に対応したEMC試験への対応が求められています。そこで岩手県工業技術センターでは、無線認証や車載機器EMC試験における注意点を解説するセミナーを下記のとおりに開催いたします。ご多忙のところとは存じますが、是非ご参加くださいとさせていただきます。

名称	無線認証・車載EMCセミナー
日時	令和2年2月7日(金) 13:00～16:30(12:30 受付開始)
場所	岩手県工業技術センター 中ホール(本館3階) 〒020-0857 岩手県盛岡市北船町2丁目4番25号
対象者	・ 電気電子機器関連企業の設計開発、品質保証に関わる方 ・ 無線機器の認証について知識を深めたい方 ・ 車載製品のEMC試験について知識を深めたい方 など
参加費	無料 ※ホームページの案内文に記載の方法にて要申込
定員	30名 ※定員になり次第締切させていただきます。
主催	地方独立行政法人岩手県工業技術センター

Iwate Industrial Re

#### ○ 宮城県

##### 「自動車関連産業 業界動向セミナー」

◇期 日：令和2年2月6日（木）

◇場 所：仙台市内

◇参加者：28名

宮城県名古屋産業立地センター自動車産業集積コーディネーターの中野 順二 氏と宮城県産業技術総合センターテクニカルプロジェクトコーディネーターの水田 謙 氏を講師に迎え、自動車関連産業における業界動向、参入に向けた取組事例等について紹介するセミナーを開催しました。



#### ○ 秋田県

##### 「品質・安全管理セミナー」

◇期 日：令和元年12月12日（木）、令和2年2月13日（木）

◇場 所：大館市及び秋田市内

◇参加者：延べ34名

公益財団法人あきた企業活性化センター プロジェクトマネージャー 上林 雅樹 氏を講師に迎え、秋田県内2地区において、自動車関連企業や参入を目指す企業を対象に、「製造部門における品質管理の基礎」や「品質と安全の関わり」等に係るセミナーを開催しました。



## ○ 山形県

### 「今後の自動車産業の方向性に関する講演会」

◇期 日：令和元年6月4日（火）

◇場 所：山形市内

◇参加者：107名

山形県内の自動車関連産業の関係者を対象に、㈱デンソー 執行職 横尾 英博 氏を講師に迎え、今後の自動車産業の方向性とデンソーの取組、そして東北・山形の企業に期待することなどをテーマとした講演会を開催しました。

また、当日は、「ものづくり相互研鑽活動」による生産改善活動の成果事例発表も併せて行いました。



## ○ 福島県

### 「トップマネジメントセミナー」

◇期 日：令和元年12月6日（金）

◇場 所：伊達郡桑折町内

◇参加者：55名

日立オートモティブシステムズ㈱福島事業所を見学するとともに、日立オートモティブシステムズ㈱執行役員 無藤 里志 氏ほかを講師に迎え、モノづくりイノベーションや次世代にも存続するクルマの将来展望について講演いただくとともに、講師等への参加企業によるプレゼンセッション及び交流会を実施しました。



## ○ 新潟県

### 「自動車産業品質マネジメントシステムセミナー」

◇期 日：令和元年6月20日（木）

◇場 所：新潟市内

◇参加者：25名

自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格である IATF 16949 について、DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン㈱ 品質マネジメントシステム主任審査員 飯室 亨 氏を講師に迎え、世界中で多くの自動車メーカーが、自動車部品のグローバルな調達基準として採用している本規格について、土台となる ISO9001 と合わせて解説し、併せて自動車の機能安全やサイバーセキュリティ等新たな自動車規格に関するセミナーを実施しました。



### 3 【戦略Ⅲ】次世代技術の開発拠点

#### ■競争力を高める次世代技術の開発／研究開発の実用化

##### (1) とうほく・北海道ショーケースカープロジェクト

###### ① 概要

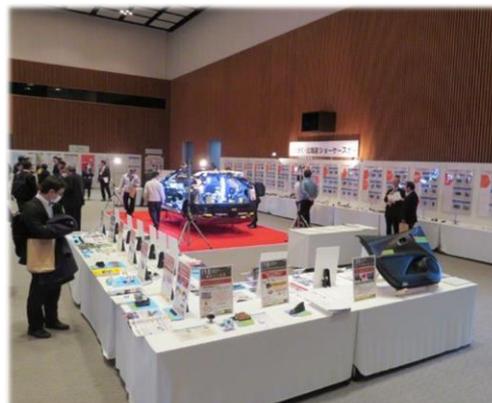
- ・ 東北7県・北海道内企業の製造部品が見える化し、域内の部品製造の潜在能力をアピール
- ・ 展示商談会の魅力向上のため、8道県連携企画として、H30.2 トヨタ展示会から展示を開始(今回3回目)
- ・ 新たに本体車両を実車ベースのフレームに変更し、部品搭載イメージを視覚的に提示することにより、訴求力を向上

###### ② R元年度ショーケースカーのポイント

- ・ 参画企業数・搭載部品数を増加(企業数:95社⇒112社 部品数:262点⇒284点)
- ・ 参画企業を地場企業に限定
- ・ 併設する「匠の技術紹介コーナー」では、地元企業の持つキラリと光る優れた技術や独特な工法等で製造された部品を展示(20企業 27部品を紹介)
- ・ 地元企業の技術ポテンシャルをPRするとともに、新たな企業間マッチングを促進



とうほく・北海道ショーケースカー



匠の技術紹介コーナー

##### (2) 中東北3県公設試技術連携推進会議（IMY連携会議）

岩手県、宮城県、山形県の3県で、高精度5軸加工技術の確立を目的に、加工システム（CAM、加工機）の違いによる影響、加工補正值の最適化等について検討を行うとともに、鋳型が鋳造品の強度へ及ぼす影響や低・中炭素鋼の熱処理条件が組織へ及ぼす影響の解析、3D砂型積層造形機による砂型の耐熱性向上技術について、秋田県を含めた4県で検討を行いました。



## 4 【戦略Ⅳ】人材の育成・供給拠点

### ■人材育成の取組

企業ニーズに応じた人材育成・確保・定着を図るため、セミナーや現地指導等を実施しました。

### ○ 青森県

#### 「多能工・熟練技術者養成研修」

◇期 日：令和元年5月～令和2年2月

◇場 所：青森市内ほか

◇参加者：295名

青森県内のものづくり人材育成支援機関の実習施設や人材、ノウハウを活用し、製造業を支える技術者の技術レベルの向上を図ることを目的として、機械設計・加工・測定分野などの5分野(40コース)を対象としたレディメイド研修や、企業の要望に応じカリキュラムを構成したオーダーメイド研修などを実施しました。



### ○ 岩手県

#### 「EV人材育成事業」

◇時 期：平成31年4月～令和2年3月

◇場 所：一関市内ほか

◇参加者：延べ155名

将来のものづくり産業を支える人材を育成するため、平成30年度からの継続事業として、次世代モビリティ(EV)に関わる創造的・実践的な技術者の育成事業を実施しました。岩手県内の高専や高校の学生を対象に、EVアカデミー、R&Dアカデミー及びEVミニアカデミーの各講座を開設し、就学段階の人材育成に取り組みました。



### ○ 宮城県

#### 「みやぎカーインテリジェント人材育成センター事業」

◇時 期：令和元年8月8日(木)～9月5日(木)

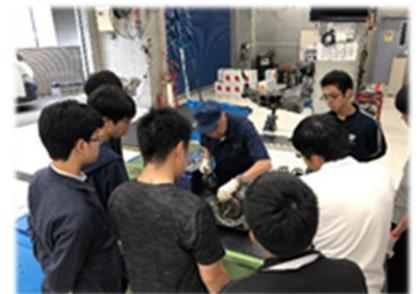
◇場 所：仙台市内ほか

◇修了者：57名

次世代の自動車づくりを担う人材の育成を目指し、東北の大学や高専・専門学校の理工系の学生を対象に、設計・開発やカーエレクトロニクス等の分野を中心とした講座を開催しました。

自動車業界で活躍している企業のエンジニアなどを講師に、講義・実習を行いました。

また、自動車関連企業で働くイメージを描くことを目的に、工場見学や先輩社員との交流座談会も実施しました。



## ○ 秋田県

### 「第4期あきたクルマ塾」

◇期 日：平成31年4月8日（月）～令和元年12月13日（金）

◇場 所：秋田市内

◇参加者：10名

QCD等を推進する企業の中核的人材を育成するため、秋田県自動車産業アドバイザーの森 浩三 氏を塾長に迎え、平成30年度からの継続事業として第4期あきたクルマ塾を開講しました。

クルマ塾では、自動車関連産業への参入や取引拡大に熱意を有する企業の中堅社員の方を対象とし、原価管理、製造の自工程完結など、2カ年で計11回にわたって講義していただきました。



## ○ 山形県

### 「自動車関連研修」

◇期 日：令和元年8月29日（水）

◇場 所：山形市内

◇参加者：9名

今の自動車業界ではどのような製品・技術が求められているかを学び、また、ブレインストーミングを通して既存のアイデアに縛られない自由な発想による製品開発の検討を行うことにより、今後の自動車業界に向けた技術者の開発・設計力を高めるための研修を実施しました。



## ○ 福島県

### 「若年定着ものづくり研修」（ふくしま若手リーダー育成道場）

◇期 日：令和元年7月10日（水）～令和2年2月7日（金）

◇場 所：福島市内

◇参加者：38名

ものづくり企業の競争力強化を図るため、新入社員及び中堅社員を対象として講義と生産現場で行う現場実践等を組み合わせたカリキュラムを実施し、ビジネススキルの養成やリーダーシップ・マネジメント能力の向上、さらに生産・品質等に関する専門的スキルを高めるための研修を実施しました。（計10回）



## ○ 新潟県

### 「自動車構造・機能セミナー」

◇期 日：令和元年8月22日（木）

◇場 所：新潟市内

◇参加者：19名

宮城県産業技術総合センター 自動車産業振興コーディネーター 萱場 文彦氏とテクニカルプロジェクトコーディネーター 水田 謙氏を講師に迎え、自動車の運動性能と運転支援のための機能や構造、自動運転の概要や今後の展望等について実際の部品と共に講義いただきました。

